

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》（案）

* 科目 No. 2114

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部		開催方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面（東広島キャンパス） <input type="checkbox"/> オンライン（同時・録画・資料提示） <input type="checkbox"/> 対面（ ）・録画		
2. 科目名	正式科目名	命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習			クラス名	
	副題				配当年次	1, 2, 3
	旧科目名				受入学年	
	学問分野	番号	33	名称	農学	
サテライトで開講される科目の科目群				A群	B群	
3. 担当教員名	谷田 創・黒川勇三・羽倉義雄・磯部直樹・実岡寛文・上田晃弘・妹尾あいら					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2021年 8月 31日（火）～ 2021年 9月 3日（金）					
個別開講日	1回目 8/31	2回目 8/31	3回目 8/31	4回目 8/31	5回目 9/1	6回目 9/1
	7回目 9/1	8回目 9/1	9回目 9/1	10回目 9/2	11回目 9/2	12回目 9/2
	13回目 9/2	14回目 9/2	15回目 9/3	16回目 9/3	試験日	9/3
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） ②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 （総授業定員）	15人 （ ）人		9. 定員超過時の 選考方法	受講者多数の場合は、本演習の体験を所属大学の授業に生かす機会の多い、低学年の学生（1, 2年生）から優先して選抜する。		
10. 科目内容・ 授業計画	広島大学の西条ステーション（農場）では、太陽の恵みを受けて育てた作物で家畜を飼い、家畜の恵みとしてミルクや肉、羊毛をいただいている。「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」は、農場とともに、畜産物や水産物を加工する食品製造実験実習棟と動植物の精密実験圃場を活用して、多くの広大教員と農場技術職員の協力により実施する。受講生は、草と家畜と土の循環のなかで食の源を生産して食品に加工していく過程を講義と実習を通して学び、他の生き物の命によって生かされている人間の存在について考える。 8/31（火）：西条駅集合、農場へ移動しガイダンス、農場の見学と説明、家畜の福祉について考える（農場） 9/1（水）：午前：家畜のエサやりと乳搾り体験（農場）&家畜の体の仕組みを見る（学部） 午後：ニワトリの肉を加工する（食品製造実験実習棟） 家畜の福祉について考える&体験発表会準備（農場） 9/2（木）：午前：家畜のエサやりと乳搾り体験（農場） 家畜の命を支える大地の働きを探る（圃場および農場） 午後：牛乳の試飲とバター作り（農場） 家畜の命について考える&体験発表会準備（農場） 9/3（金）：午前：体験発表会（学部講義室） 昼頃に西条駅解散 ※授業計画は新型コロナウイルス感染症の拡大状況や天候不良等により開講の中止や内容の変更があります。また受講希望者が5名以下の場合は開講を中止する場合があります。					
11. 試験・評価方法	受講態度、発表、受講後のレポートで評価する。フィールドを活用した演習なので農場の規則を守れない受講者は不可となる。					
12. 別途負担費用	3日目の昼食費（1000円以内）を現地で徴収します。集合場所までの旅費、演習中の宿泊費、食費は自己負担です。					

<p>13. その他特記事項</p>	<p>●受講人数：15名程度 本授業科目は、広島大学他学部（生物生産学部以外の学部）と他大学の非農学系学部の大学生（専門学校・高専の学生を含む）のために開講されるものです。受講者多数の場合は、本演習の体験を所属大学の授業で生かすことを踏まえて、低学年の学生（1,2年生）を優先して選抜します。定員以上の受講希望者が想定されますので、<u>受講が認められた後のキャンセルは絶対にしないでください（受講を認められなかった方に大変迷惑となります）。事前に自分の予定と演習の日程を調整した上でお申し込みください。</u> ●傷害保険：事前に学生教育研究災害傷害保険（財団法人日本国際教育支援協会）相当の傷害保険に加入しておいてください。 ●集合日時：8月31日（火）の13時にJR山陽本線 西条駅前（南口のロータリー）に集合してください。大学が準備したバスで農場まで送迎します。昼食は集合時間までに済ませておいてください。なお、演習最終日の9月3日（金）は昼頃にバスでJR西条駅前まで送迎します。 ●宿泊場所：受講確定後、こちらが指定した東広島市内のホテル（ビジネスホテル）のシングル部屋を各自で予約していただきます。ホテルから農場までは毎日バスで送迎いたします。朝食および夕食（大学生協食堂）は各自でとっていただきます。 ●持参物：医療保険証、マスク（ただし作業中は別途作業用不織布マスクを配布します）、体温計、作業以外の時に着る動きやすい服（虫対策のため半ズボン等は不可）、帽子（サンバイザー不可）、水に濡れたり汚れたりしても構わない靴（サンダルやヒールのある靴は不可）、雨具（カッパ）、筆記用具、洗面用具、タオル、身の回り品等。作業用のつなぎ及び長靴はこちらで用意します。 ※持ち物の詳細については受講者が確定し次第、個人宛にメールで案内しますので、<u>常時連絡の取れるメールアドレスを正確に記入してください。</u>また、その際につなぎ及び長靴のサイズの確認と海外渡航歴の確認をしますので、必ず返信してください。<u>メールでの連絡の際には必ず氏名と所属大学を明記してください。</u> ●注意事項： ①新型コロナウイルス感染症の拡大状況、災害の発生や天候の状況（台風等）によっては開講の中止や内容の変更もあります。<u>また受講希望者が5名以下の場合は開講を中止する場合があります。</u> ②<u>受講2週間前から毎朝の検温を必ず実施してください。受講前日までに体調に異変（37.5℃以上または平熱から1℃以上高い場合、倦怠感、咳、息苦しさ、喉の痛み、頭痛、嗅覚・味覚異常のどれかひとつでも該当するとき）がある場合は、演習の受講を取り止めていただきますので、必ず所属大学学生係、広島大学生物生産学部学生支援室、広島大学大学院統合生命科学研究科教授（谷田 創）まで連絡してください。</u> ③家畜伝染病（口蹄疫）の予防措置のため、<u>演習日前の2週間以内に海外渡航を予定しておられる方については受講を認めない場合がありますので、受講を申し込まれる前に問い合わせてください。</u>特に演習日前の2週間以内に口蹄疫発生地域（中国・韓国等）からの帰国を予定されている方は受講できません。帰国がこれらの期間より前であっても、海外で使用した衣服や靴を農場内に持ち込むことはできません。さらに本演習前に国内の家畜農場や家畜関連施設（食肉センターを含む）に立ち入られた方またはその予定のある方も事前に下記までご相談ください。 ④演習中は決められた場所以外への出入りはできません。演習期間中の移動は送迎バスを利用します。 ⑤<u>広島大学構内（附属農場を含む）は全面禁煙です。</u> ●欠席・遅刻の通知方法：やむなく欠席・遅刻する場合は1週間前までに所属大学学生係および広島大学生物生産学部学生支援室まで必ず連絡をしてください。 【問合せ・連絡先】 ・ 広島大学生物生産学部学生支援室 〒739-8528 東広島市鏡山1-4-4 TEL：082-424-4323 E-mail: sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp ・ 広島大学大学院統合生命科学研究科 教授 谷田 創 〒739-0046 東広島市鏡山2-2965 TEL：082-424-7994 E-mail: htanida@hiroshima-u.ac.jp</p>		
<p>14. サテライト科目の 社会人受講について</p>	<p>科目等履修生（単位付与）として受け入れ</p> <p>聴講生（単位認定不要）として受け入れ</p>	<p>可</p> <p>可</p>	<p>否</p> <p>否</p>

※授業計画は新型コロナウイルス感染症の拡大状況や天候不良等により開講の中止や内容の変更があります。

また受講希望者が5名以下の場合は開講を中止する場合があります。